

# マスタートップ<sup>®</sup> 561 (旧名:リパメント)

## MASTERTOP<sup>®</sup> 561

### 急硬性補修用ポリマーセメントモルタル材

マスタートップ561は、5～80mm程度の厚塗り施工ができる急硬性の補修用ポリマーセメントモルタル材で、工期に制約のある補修工事等に使用できます。

マスタートップ561はプレミックスタイプの商品ですので、現場で所定量の水を加えて練り混ぜるだけで、常に品質の安定した急硬性のポリマーセメントモルタルが得られます。

#### 特長

1. 急硬性があります。(20℃・3時間で歩行可能)
2. 収縮が少なく、寸法安定性があります。
3. 優れた表面仕上げ性により容易に平滑面が得られます。
4. 粉体ポリマーを混合したプレミックスタイプです。
5. 可使時間は、20℃で約40分あります。

#### 用途

コンクリート床面の補修・改修

#### 仕様

1袋当りの標準練上り量			1m <sup>3</sup> 当りの標準使用量		標準施工厚	
マスタートップ561 (kg)	水 (ℓ)	練上り量 (ℓ)	マスタートップ561 (kg)	水 (ℓ)	1層の施工厚 (mm)	1袋当りの施工面積 (m <sup>2</sup> )
25	2.5～3.1	約12.5	2,000 (25kg×80袋)	200～248	5	2.5
					40	0.31

#### 一般物性試験例

養生温度 (℃)	水量 (ℓ/袋)	練上り温度 (℃)	コンシステンシー (フロー値)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )				圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )				付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )
				3時間	1日	7日	28日	3時間	1日	7日	28日	
20	2.7	20	180	4.0	5.4	8.9	10.0	18	29	49	60	1.6

試験方法 ■ コンシステンシー：JIS R 5201「セメントの物理試験方法」に準拠した。

■ 曲げ及び圧縮強度：JIS R 5201「セメントの物理試験方法」に準拠した。但し、養生は気中養生とした。

■ 付着強度：JIS A 5304 に規定するコンクリート平板を用い、建研式接着力試験器による。

## 使用方法

1. 施工するコンクリート面は、サンドブラスト・ショットブラスト・チッピング等により健全で清掃な面にしてください。
2. 鉄筋が錆びている場合は、ディスクサンダー等で錆落しを行い、適切な防錆処置を行ってください。
3. 施工面が乾燥している場合は、プライマー（エマコC150）あるいは（マスタートップP653）を塗布してください。  
湿潤の場合はボンドコート（マスタートップ561シーラー）を塗布してください。  
（ボンドコートの場合は、施工する約2時間前から下地コンクリートを湿潤に保ってください。）
4. マスタートップ561の練り混ぜは、所定量の水を入れ、モルタルミキサまたはハンドミキサで3分間練り混ぜてください。
5. 均一に練り混ぜたマスタートップ561は、コテ塗りにより仕上げを行ってください。
6. 施工後は適切な養生を行ってください。
7. ボンドコートにマスタートップ561シーラーを用いる場合は、マスタートップ561シーラーがフレッシュな状態のうちにマスタートップ561を施工してください。  
※ 練り混ぜ温度が30℃以上の場合は、可使用時間が短くなりますので、必要に応じて可使用時間調整材「P助材」（25kg当たり1包:20g）の併用をご検討ください。

## 使用及び取扱上の注意事項

1. 練り混ぜ水は飲料水またはこれに準ずる水を使用し、使用水量は試験練りを行って決定してください。
2. 施工に先立ち、施工箇所の下地は、使用方法に記載の処置を行ってください。
3. 本商品の保管はセメントと同様に取り扱い、一度開封して放置された商品は使用しないでください。
4. 本商品は、水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり皮膚・目・呼吸器などを刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
5. 本商品の取り扱いについて当たっては、防塵マスク・保護メガネ・ゴム手袋等を着用してください。
6. 万一目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分に洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
7. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
8. 万一吸入した場合は、速やかに新鮮な空気のある場所に移し、水又は温水でうがいをさせ、専門医の診察を受けてください。

## 包装形態

25kg 防湿袋入り

※本商品についてのお問い合わせは、本社建材営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

## BASF ポズリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階	混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980
仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713	大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 (松本全沢事務所)	横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

[www.pozzolite.basf.co.jp](http://www.pozzolite.basf.co.jp)

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。  
●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。  
●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。  
●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。  
●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

